

## I 第41週の発生動向 (2012/10/8~2012/10/14)

1. 手足口病、ヘルパンギーナについては、県内全域で警報が解除されました。
2. デング熱については、県内で初めての患者報告がありました。

## II 第41週五類感染症定点把握

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科	(85) インフルエンザ														0					
小児科	(74) RSウイルス感染症	12	1.5	7	0.8	11	1.2	1	0.2	9	1.5			40	1.0	-8			12	1.5
	(75) 咽頭結膜熱	1	0.1											1	0.0	1			1	0.1
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	2.0	5	0.6	20	2.2	1	0.2	4	0.7	3	0.8	49	1.2	6			16	2.0
	(77) 感染性胃腸炎	13	1.6	10	1.1	8	0.9	2	0.4			5	1.3	38	0.9	-5			13	1.6
	(78) 水痘	14	1.8	1	0.1	3	0.3	4	0.8	3	0.5			25	0.6	11			14	1.8
	(79) 手足口病	2	0.3	2	0.2	12	1.3	8	1.6	9	1.5	7	1.8	40	1.0	-20			2	0.3
	(80) 伝染性紅斑									1	0.2			1	0.0	1				
	(81) 突発性発しん	4	0.5	3	0.3	7	0.8			5	0.8	3	0.8	22	0.5	11			4	0.5
	(82) 百日咳														0					
	(83) ヘルパンギーナ	7	0.9	6	0.7					2	0.3	2	0.5	17	0.4	-18			7	0.9
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.4	2	0.2	1	0.1							6	0.1	-3			3	0.4	
眼科	(86) 急性出血性結膜炎														0					
	(87) 流行性角結膜炎			1	0.3	3	1.5							4	0.4	-9				
基幹	(92) クラミジア肺炎														0					
	(93) 細菌性髄膜炎														0					
	(95) マイコプラズマ肺炎			5	5.0	5	5.0					8	8.0	18	3.0	-3				
	(96) 無菌性髄膜炎														0					

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 八戸2人、五所川原1人(2012年計:342人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 青森市21人(2012年計:56人)
- (35) デング熱(四類全数把握疾患): 青森市1人(2012年計:1人)
- (55) レジオネラ症(四類全数把握疾患): 青森市1人、八戸1人(2012年計:5人)
- (63) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患): 八戸1人(2012年計:2人)
- (68) 梅毒(五類全数把握疾患): 弘前1人(2012年計:4人)

## IV 病原体検出情報 ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・ヘルパンギーナ患者4名(咽頭ぬぐい液、7/30~8/15) **コクサッキーウイルスA4型**: 弘前(2)、**HHV7**: 弘前(1)、**パラインフルエンザウイルス(HPIV)3型**: 弘前(1)、
- ・ヘルパンギーナ・RSウイルス感染症患者1名(咽頭ぬぐい液、8/3) **HPIV3型**及び**ライノウイルス(HRV)**: 弘前(1)
- ・手足口病患者3名(咽頭ぬぐい液、8/6~8/16) **HRV**: 弘前(1)、**HHV7**: 弘前(1)、**HHV6**: 弘前(1)
- ・下気道炎患者2名(咽頭ぬぐい液、8/8) **RSウイルス**: 八戸(2)
- ・夏かぜ患者2名(咽頭ぬぐい液、8/3、8/7) **HRV**: 八戸(2)

# 感染症の窓

## デング熱 (四類全数把握疾患)



図 デング熱発生地域

デング熱はデングウイルスによる感染症で、ウイルスを持っているネッタイシマカやヒトスジシマカに刺されることで感染します。症状は、2~15日の潜伏期間後、38~40℃の発熱、激しい頭痛、関節炎、筋肉痛、発疹等です。通常は軽症ですが、中には出血しやすくなる傾向や血圧低下するデング出血熱となる場合があり、この場合は放置すると死亡することもあります。

予防ワクチンや予防薬はなく、蚊に刺されないことが唯一の予防法です。危険地域は、アジア、オセアニア、アフリカ及び中南米の熱帯・亜熱帯地域です(図)。(参考:厚生労働省HP「感染症についての情報」)

県内では、第41週に、1999年の調査開始以来 初めての患者報告があり、海外で感染したものと推定されています。危険地域へ出かける場合には、蚊の対策に注意が必要です。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（掲載内容は最新情報です）単位：人 2012年第22週～第40週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					
29	H24.7.16 ~ H24.7.22						
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		急性脳炎1人		つつが虫病1人		
31	H24.7.30 ~ H24.8.5	ジアルジア症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	腸管出血性大腸菌感染症1人				風しん1人	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	腸管出血性大腸菌感染症2人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症5人		
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			アメルバ赤痢1人
38	H24.9.17 ~ H24.9.23		風しん1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
39	H24.9.24 ~ H24.9.30			腸管出血性大腸菌感染症1人 ウイルス性肝炎1人			
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) 単位：人 2012年第22週～第40週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		1	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	3		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	7	2	1	
29	H24.7.16 ~ H24.7.22		1	3	2		
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		2	2			
31	H24.7.30 ~ H24.8.5			2	1		
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	2		3	3	1	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	1	2	3			
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	4	2	1	1	1	
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	1	3	1		1	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9	2	2	2	1	1	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16	5	3	1	1	2	
38	H24.9.17 ~ H24.9.23	5		3	1		
39	H24.9.24 ~ H24.9.30	3	1			1	
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	2	1	5		1	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

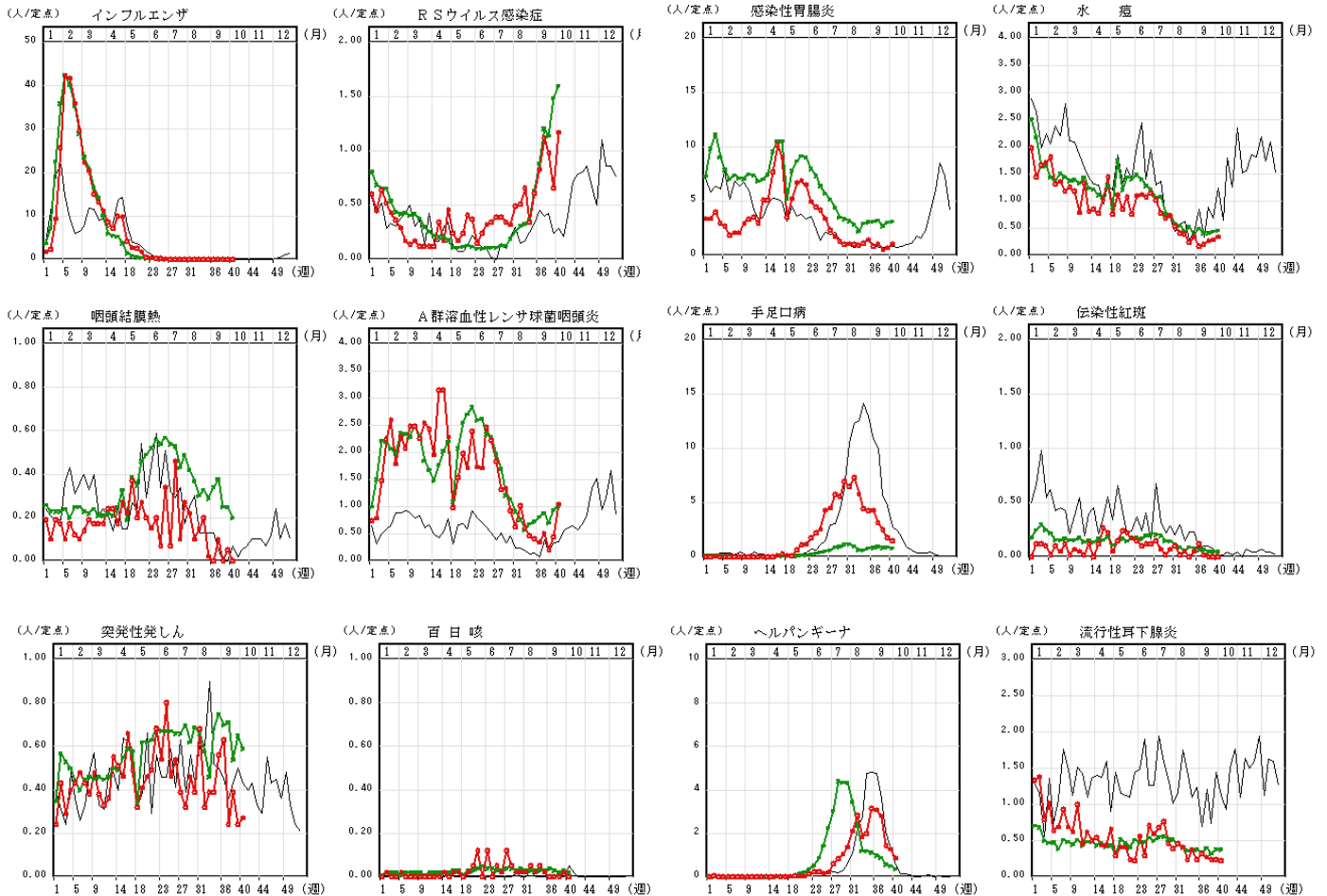
2012年10月16日10時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	テングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリスス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
全国	22574	3	172	3186	26	17	93	132	10	6	2	5	198	174	114	2	3	61	9	648
青森県	342	0	0	56	0	0	1	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	5
	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レプトスピラ症	アメルバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クワブスボリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん					
全国	17	683	171	294	6	140	193	1071	52	10	668	87	72	1808	268					
青森県	0	3	1	3	0	0	1	3	1	0	4	0	1	2	0					

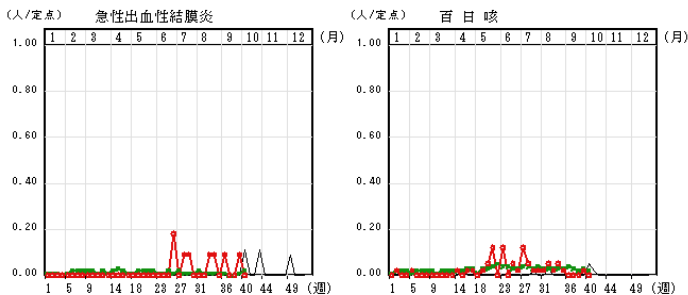
Ⅶ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2012年第40週

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、—は2011年青森県、×—×は2012年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2012年第40週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2012年第40週

